

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所手柄ひまわりホーム		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月27日
○保護者評価有効回答数		38 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用定員に対して発達支援室等のスペースが十分確保できており、事業所の設備等はバリアフリー化しているためこどもの発達に応じて心地よく過ごせる空間になっている。	・その日のこどもの人数、特性に合わせて活動室を仕切ったり、広げたり臨機応変に活動室を使用している。	・必要に応じて個別でリラックスして過ごせる部屋の整備、部屋の使い方を見直しを行う。
2	・日頃からこどもの状況を保護者と直接伝えあい、信頼関係を築くことができています。	・お迎えの際にこどもの事業所での様子を実際に見ながら状況を伝えあうことができ、またいつでも活動を見学していただける開かれた事業所作りに努めている。	・引き続き保護者のニーズに丁寧、迅速に対応していただけるよう信頼関係を築き良好な関係づくりに努めていく。
3	・利用定員に対し充実した職員配置を行っている。	・職員の基準配置数に加え、児童指導員等加配加算の職員を配置し一人ひとり個別に対応できる体制を整えている。	・活動内容や活動時間に応じて増員するなど、一人ひとりとしっかり関わる人員を配置できるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校への送迎はあるが、自宅への送迎体制が整っていない。	・保護者からの要望は多く聞かれるが、現時点では送迎車や送迎職員の確保が難しいため行っていない。	・職員増員や送迎車については代替え策についても検討していく。
2	・学校休業日における延長支援の対応時間について。	・学校休業日は支援時間が9時から15時までとなっているが、保護者からもっと延長できないかとの要望がある。 職員の就業時間や事務作業の時間確保の関係上15時までとなっている。	・保護者の要望に合わせ柔軟に対応できるよう検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025年1月23日			
多機能型事業所手柄ひまわりホーム		利用児童数		42		回収数		29	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93.1%	3.4%	0.0%	3.4%	・部屋が広いのでできていると思う。	・十分なスペースを確保しつつ、今後は個別に対応できる環境整備に努めていく。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	89.7%	6.9%	0.0%	3.4%		・今後も十分な職員が確保できるよう取り組んでいく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93.1%	0.0%	0.0%	6.9%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96.6%	0.0%	0.0%	3.4%		・毎日の清掃や感染症予防を徹底し過ごしやすい環境作りを努めていく。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%		・今後も研修の機会を確保し支援の質を向上させていく。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93.1%	0.0%	0.0%	6.9%			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93.1%	0.0%	0.0%	6.9%	・してほしい支援内容を設定して、出来るように支援してもらっている。	今後も一人ひとりに合わせて具体的な支援内容が立案できるよう取り組んでいく。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89.7%	3.4%	3.4%	3.4%	・毎週違ったプログラムなので子供も飽きずに楽しめていると思います。 ・色々な体験をさせてもらいありがたい。	・週ごとにプログラムを変更しているが、今後より細やかな活動プログラムを検討していく。	
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17.2%	6.9%	27.6%	48.3%	・必要ない。実施には双方にかなりの負担がかかる。	・今後は保護者の意見を踏まえ、必要であれば検討していく。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34.5%	13.8%	13.8%	37.9%	・あれば参加したい。	・今後保護者の意見を踏まえ対応を検討していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・迎えに行ったときにできたことを教えてもらっています。 ・いつも詳しく教えてもらっている。	・今後も保護者と送迎時に状況を伝える時間を確保し、利用児一人ひとり個別の支援の充実を図っていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%		・必要に応じてお迎えや面談時に丁寧に対応していく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96.6%	0.0%	3.4%	0.0%			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17.2%	10.3%	31.0%	37.9%	・子どもと保護者が一緒に楽しめるイベントがあればよい。 ・あれば参加したい。	・今後も保護者の意見を聞き取り、保護者同士の交流の機会を検討していく。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89.7%	3.4%	0.0%	6.9%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	86.2%	6.9%	0.0%	6.9%		・SNSの発信以外にも活動の様子を発信する方法を検討していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.6%	0.0%	0.0%	3.4%		・個人情報に記載されている書類等は鍵付き書庫に保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	79.3%	3.4%	0.0%	13.8%		・各マニュアルを策定している。今後面談時等において保護者への周知を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	65.5%	0.0%	0.0%	31.0%		・定期的に避難訓練を行っている。今後は面談時等において保護者への周知を行っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89.7%	0.0%	0.0%	10.3%		・安全計画を策定している。今後は面談時等において保護者への周知を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	82.8%	3.4%	0.0%	13.8%		・事故等が発生した際には速やかに対応できる体制を整備していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93.1%	0.0%	0.0%	6.9%	・毎週楽しんで行っています。 ・いつも楽しく通所しています。	・利用児が楽しみを持って通所できるよう取り組んでいく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・この結果が維持できるよう取り組んでいく。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所手柄ひまわりホーム		公表日		2025年 1月 23日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2つの部屋を利用し、利用児の様子に応じて活動スペースを確保している。またクールダウン等のために1人になれる場所を確保し提供している。	今後も個々の利用児に合わせて臨機応変に対応できるように環境整備に努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準の職員配置数を確保している。活動内容に応じて増員するなど一人ひとりしっかりと関わられる人員を配置している。	今後も適切な人員配置を行い、支援の質を高めることができるよう工夫していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		予定を絵カードで掲示するなど、本人に分かりやすい環境を提供している。建物バリアフリー化となっている。	お迎え時に保護者を活動室にご案内し、実際に活動スペースを確認してもらう機会を増やしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃と整理整頓で清潔な状態を保ち、また感染症対策を含めた衛生管理に努めている。	定期的に設備点検を行い改善を行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の様子に応じて、個別の部屋を確保し提供している。	必要に応じて個別のスペースの環境整備を考えていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日活動の内容、利用児の情報確認・課題検討を行い、終礼時に実践できたかどうか、反省点などを話し合う時間を確保している。	引き続き業務改善に向けた取り組みをしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時のやりとりで保護者等の意向を聞く機会を設けている。	引き続き業務改善に向けた取り組みをしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の終礼や会議で意見を発表する機会を設け、またその都度意見交換を行い業務改善につなげている。	引き続き業務改善に向けた取り組みをしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現時点では第三者による外部評価は行っていない。	今後の検討課題とする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月1回、施設内研修と月1回全体研修を実施している。施設外研修にも積極的に参加する機会を確保している。	引き続き研修情報の提供や研修時間の確保などに取り組んでいく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		公表するための準備を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に評価、モニタリング、アセスメントを行いニーズや課題を分析して計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月1回ケース会議を行い責任者、支援員と支援の方向性を統一できるよう情報共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース会議等で計画は共有されており、利用児に関わる職員が理解し支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		連絡帳、ケース記録、サービス提供記録等で常に状況が把握できるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的にモニタリング、アセスメントを行い利用児のニーズや課題を設定し支援を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム作成会議を行い、活動内容について協議した上で立案している。	今後も引き続き取り組んでいく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に職員間で意見交換をする場を設け、週ごとに担当を変更している。また、ステップアップを考えて活動を決めるなどしている。	家族の要望も取り入れ、子ども達の視野が広がるようなプログラムを計画していく。将来を見据えた個別支援、活動プログラムの提供を検討していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		それぞれの利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を取り入れながらプログラムを提供している。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時にその日の活動内容、プログラムを確認し、担当者を決めて職員全員が把握している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時にその日の活動を振り返る時間を設け、明日からの支援に活かせるよう話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後、毎日個別の支援記録を作成し、振り返りを行いよりよい支援が提供できるよう工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度モニタリングを行っている。本人や保護者に定期的に聞き取りを行い計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		その日の活動に「4つの基本活動」を取り入れ将来を見据えた支援の提供を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別活動、集団活動に加え、自由時間にも自己選択、自己決定を促す支援の工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サビ管や利用児担当職員が参加し、情報共有や支援の統一を図っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		契約時、アセスメント、モニタリング時に関係機関を聞き取りし、必要に応じて連携する体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の情報は主に保護者からの情報提供であるが、必要に応じて学校とも連携を図り連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			現在の所、事業所間でのやりとりはないが、今後必要であれば連携を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在の所、事業所間でのやりとりはないが、今後必要であれば連携を図っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在の所行っていないが、今後必要であれば積極的に活用を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在の所行っていないが、地域交流できる機会を設け等、できる限りの交流活動などは検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		成人の部のしごと部会に参加している。	こども部会への参加も検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にその日の活動の様子を伝えている。出来たこと、頑張ったこと、課題等を話している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在のところ、ペアレント・トレーニングの実施はしていないが、折に触れての助言や、保護者座談会等の情報提供は行っている。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	今後も保護者等に事業所運営の協力・理解を得られるよう誠実に対応していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約や面談時に本人や保護者のニーズを聞き取り、意向に沿った支援が行えるよう工夫している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時や計画書更新時に支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		お迎え時に職員と話をする機会がある為、その時に相談があればその都度対応し、必要に応じて関係機関に繋げる等している。具体的な対応方法などを提案し、問題解決に繋げている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会等が存在しないため、今後は保護者同士で交流が出来る機会を検討する。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談、苦情に対する体制について周知して頂けるよう、説明を行っている。	引き続き丁寧に対応し、どんな小さな苦情でも迅速、誠実に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	インスタグラムで日々の活動の様子を発信している。	今後も継続して取り組んでいく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報が記載されている書類等は鍵付き書庫に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	視覚支援や手話、ツールを活用し、意思疎通ができるよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	事業所内に招待は行っていないが、月3~4回事業所でパン販売を行い地域住民と積極的に交流している。	今後の課題として検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	面談時にマニュアルの周知をしていたが、現在コロナ対応で電話面談をしている為、保護者より希望があった場合に閲覧出来るようにしている。	面談時や保護者のお迎え時に、周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定し定期的に避難訓練を実施している。また反省事項に基づき見直しを実施している。	今後も継続して取り組んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	アセスメント時に利用児の状況を保護者から聞き取りし情報共有している。	今後も継続して取り組んでいく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの利用児については医師の指示書の提出を依頼しており、保護者と状況を共有している。	今後も継続して取り組んでいく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画は作成している。研修や訓練も定期的に行っている。	安全管理に基づいた研修や訓練を充実させていく必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時や面談時に非常時の対応や避難場所について説明を行っている。	今後も継続して取り組んでいく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット報告書を作成し、今後の支援方法について職員間で話し合いを行っている。	今後も継続して取り組んでいく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を設置し定期的に委員会で話し合う機会を設けている。研修の機会も確保している。	今後も継続して取り組んでいく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	契約時や面談時に説明し、個別支援計画に記載している。	今後も継続して取り組んでいく。	